

「鉄道、船舶、航空」分野で活躍する豊中の企業

鉄道、船舶、航空機などの輸送手段は、経済活動の根幹です。なかでも日本の鉄道造船は世界最先端の技術を誇ります。その一翼を担う部品供給を豊中の会社が行っていることをご存知でしょうか。また、空港のあるまちならではの航空機関連産業もご紹介します。

鉄道

国内車両メーカーすべてと取引
株式会社トヨーコーポレーションの看板商品は車両運転台。月産8台が限界という運転台は、1台1台板金加工で型を形成する手づくり品。製造を行っているのは、車両メーカーの系列以外では全国でも3社程度という希少な存在です。
また、40年にわたる車両搭載機器の製造実績で、いまや国内すべての車両メーカーに採用されて、全国各地で製品が活躍しています。



近年は、操作性と安全性に加えてデザイン性も重視されています

●株式会社トヨーコーポレーション
豊南町東3-8-7

アナログ技術を最大活用し 既成概念を超える

創業当初は、監視盤や制御盤の組立が中心。数多い配線を減らせないと、昭和55年（1980年）に「多重伝送システム」の開発に着手。苦心の末、完成した多重伝送機器では、わずか2本の電線で最大256点のオンオフ信号、最大2000点の計測信号の送信が可能となりました。配線が大幅に減るため工事コストを低減でき、また既設の電線を活用できるため、長距離伝送が可能で機器の追加も簡単です。

平成16年（2004年）に、阪急電鉄で超長距離（大阪―京都間50km）伝送の実験に成功。翌年には台湾新幹線に監視システムを納入したのがきっかけとなり国内鉄道会社との取引が増加。現在は、阪急電鉄全線の沿線管理システムをはじめとして全国的に導入されています。

●豊中計装株式会社
名神口3-7-13



路切そばに設置されたボックスのなかに同社の監視・計測システムが格納されています

南 極観測船にも採用された実績

最小限の空間で食事を作らなければならない船の厨房では、ムダのない合理的な設計と揺れに対する安定性、長年の酷使に耐える堅牢さが求められます。造船工事中に厨房機器を運び込み、機器の足をデッキに溶接したうえコンクリートで固定します。



一度に30～50リッターのスープや味噌汁を作るスープポイラー

国内に数社しかない船舶用厨房機器メーカーとして、同社は長年にわたる実績を有し、外洋航路の大型客船や自衛艦など、多数の納入先を誇ります。

●フジオ調理工業株式会社
名神口1-6-4



煮炊き物から焼き物、パンやケーキを焼くオープンまで一体になったクッキングレンジ

船 舶用電子機器で豊富な実績

船舶用電子機器の製造は、トランジスタラジオの製造で培ったアナログ技術を見込まれて、船舶用FM無線機の生産を受託したことがはじまり。以来、大手メーカーとの取引は30年に及びます。漁船に搭載されるソナー（水中を伝播する音波を用いて対象物を探知する）、商船向けにはレーダーやGPSによる航海計器などを完全OEM（相手先ブランド名製造）で生産しています。

他にも同社は、病院向けプリペイドカード式課金装置ではトップシェアを誇り、近年は、「離床センサー」などの医療・介護用センサーや高精度GPSの応用製品として災害対策計測装置などの独自開発を進めています。

●長田電機株式会社
大黒町1-3-22



海上上の安全情報を受信する機器。大手メーカーの最終製品として出荷されます

船舶

厳重な検査体制で「安心」を提供

船舶をはじめ、建設機械や農業機械などに多く使われている油圧装置。その装置の要となる部品の一つが油圧マニホールドブロックです。これは、直方体の金属に穴をあけて内部に油圧回路を構成する油路を形成したもので、この部品により油圧装置の小型・軽量化が可能になり、配管も少なくて済みます。同品を50年以上にわたり一貫して製造し続けていくのが共栄機械株式会社。わずかなゴミの付着も許さない徹底した品質管理で、油圧システムの大手メーカーすべてに製品を提供しています。

●共栄機械株式会社
利倉1-1-3



船舶関連では、ハッチカバー、デッキクレーン、巻上げウインチなど重量物を扱う機械に用いられています